

多賀城市の地震情報②

平成23年3月23日発行
編集と発行 多賀城市総務部地域コミュニティ課

被災者の皆様へ

宮城県沖地震がいつかはやって来ると懸念されてはいましたが、まさかこんな巨大なマグニチュード9.0の大地震が発生しようとは、誰も予想だにしないかつたのではないかと思います。

被災された皆様方に心からお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになった方々には衷心より哀悼の意を表します。

3月11日の地震発生と同時に、災害対策本部を設置し、自衛隊、警察、消防をはじめ、関係諸団体の皆様と連携し、一日でも早い復旧を目指して頑張っております。

皆様方の御協力のお陰で、少しずつインフラの点検も進み、食糧支援等も整いつつあります。

しかし、未だ電気、水道、ガスの未復旧や、車の撤去など、対策が必要な所も多々あります。未曾有の大地震と大津波で、かつて経験したことのない試練の連続かと予想されますが、市民の皆様との協働のもと、早期の復興を目指してまいります。

皆様の御協力をよろしく願います。

菊地 健次郎

市内の生活関連情報

◆水道(3月23日現在)

給水時間 / 午前8時30分〜午後7時

*市川配水池、多賀城東小学校と東豊中学校の間、天真小学校は中止しました。

給水所		開始時間の目安 (2回目以降の給水時間は約2、3時間後)
1	市民プール	午前8時30分ころ
2	山王小学校	
3	高崎中学校	
4	新田地区 (新田公民館、新田一区防災倉庫、新田新後公園)	
5	総合体育館	午前10時30分ころ
6	八幡公民館	
7	城南小学校	
8	浮島会館	
9	第二中学校	
10	東北学院大学工学部	午後12時30分ころ
11	多賀城小学校	
12	高橋地区生活センター	
13	県営多賀城八幡住宅(桜木三丁目)	午前8時30分〜 午後7時まで
14	大代地区 (大代5丁目20番付近、大代南集会所)	
15	上水道部庁舎前	

◆都市ガス

仙台市ガス局より↓復旧については、被害の少なかった新潟からのパイプラインを活用し、順次供給を再開する予定です。

◆電気

現在復旧中です。桜木、栄、八幡、町前の一部は個別に送電作業をしています。

◆家庭ごみ

・もやせるごみ、もやせないごみ、粗大ごみ

収集場所／各集積所
収集日／通常の曜日と同じ

ごみ袋／指定ごみ袋以外(段ボールなど)でも収集します。

その他の資源物は自宅で保管願います。

◆災害ごみ

次のとおり分別してください。

①もやせるごみ

木材、プラスチック類、衣類など

②がれき

コンクリート、石垣、瓦、ブロックなど

③もやせないごみ

金属とプラスチックの複合製品など

④畳⑤土砂

その他の災害ごみ（テレビなど）は自宅で保管願います。

収集場所／分別し、自宅敷地の前（車や歩行者に支障の無いよう）に願います。

期日／特に定めていません。

収集方法／地震・津波の大きな被害を受けた地区から順次収集作業を行います。（遅くなる可能性もありますが、必ず収集します）

*①～⑤の災害ごみをご自身で搬出できる方は、午前9時～午後4時までに中央公園（多賀城市市川地内）へ（家庭ごみは対象外）

◆道路・交通

●道路

国道45号↓杉の入～浜田間通行不可（松島以北一部通行不可あり）

多賀城市内の産業道路↓通行可能

●交通（日々状況が変化しています）

鉄道↓JR東日本へ問い合わせください。

バス（当分の間、次のバスを毎日運行します）

①宮城交通（株）

運行経路／多賀城駅前～国道45号～仙台駅前（さくら百

貨店前）～県庁～北根三丁目

運賃／片道490円（多賀城～仙台）＊こどもは半額

②日本三景交通（株）・仙塩交通（株）

運行経路／多賀城駅前～国道45号～仙台駅東口付近

運賃／片道500円＊こどもは半額

◆教育関係

●市立小中学校

卒業式・修了式は3月24日（休）です。

●留守家庭児童学級（再開済）

利用時間／4月20日（休）までは午前8時30分～午後5時（お弁当と飲み物を持参してください）

●市立保育所・太陽の家（再開済）

桜木保育所は、子育てサポートセンターで保育しています。

●子育てサポートセンター

3月31日（休）まで休館します。

◆家屋

市では、り災証明書を発行するため、浸水被害があった区域を対象に、被害調査を行う予定です。

また、浸水被害のあった区域以外の区域で、建物に損害があった場合には、税務課まで御連絡ください。

*被害調査に伺う前に修繕などをされる場合には、修繕前に写真撮影してください。

◆車両の撤去について

災害対策基本法に基づき、所有者に代わって多賀城市長が撤去し、6カ月間保管します。

●車両に関する取り扱い

①公有地（道路や公園など）にある場合

市が委託した業者が撤去し、一時的に保管場所へ移動します。その後、市の委託業者から所有者へ連絡します。

②私有地にある場合

①と同じですが、道路上や公園などの撤去が完了してからの作業になりますので、ご了承願います。

●車両の保管場所

日産宮城サービスセンター（株）多賀城市町前1丁目7-1（産業道路沿い）

●保管後の取扱い

車両番号等を公示（ホームページ、市役所庁舎、各避難所などへ掲示）し、6カ月間保管後、連絡のない車両は市が処分します。

●費用

普通自動車の場合、1万5千円程度

*車両の種類や状況により違いがありますので、詳しくは、委託業者へ問い合わせください。

●委託業者

(株)ヨシムラ

事務所↓多賀城市役所4階（道路公園課内）

TEL 090・7522・8464

090・9635・2136

●個人で自己の車両を撤去する
場合の連絡先

次の業者へも依頼できます。

(株)アイエス総合

フリーダイヤル

0120・922・710

(株)栄進商事

TEL 090・4551・1213

080・6024・9998

◇自動車税・軽自動車税

今回の地震で自動車を使用不能の場合、平成23年度からの税金の課税を一時的に停止することができます。

なお、この手続きは4月1日以降でも受け付けします。

●軽自動車税

多賀城市役所（税務課）

TEL 022・368・1141

●普通自動車税

宮城県塩釜県税事務所

電話 022・365・4191

宮城県税務課

TEL 022・211・2326

◇衣類・毛布などの提供

衣類など（中古も含む）を提供しています。詳しくは社会福祉課へ。

汚水流出の危機！

～下水道排水の節水にご協力を～

現在、大代にある「宮城県仙塩流域下水道（仙塩浄化センター）」が津波により機能が停止しています。そのため対象地域（多賀城市・仙台市の一部・塩竈市・利府町・七ヶ浜町）の生活排水が浄化できない状況にあります。

このことから、緊急措置として臨時的沈砂池を通し、塩素消毒後、河川に直接放流することとなりましたので、今後とも汚水の排水量を抑えるため、節水にご協力をお願いします。

●トイレの使用

できる限り少量の水で済ませてください。

●お風呂・台所の使用

浴そうに貯めた水などは道路の側溝やご自宅の庭などへ散水してください。

ご協力、ありがとうございました

今回の災害により、各区長を通じて各世帯に市からのお知らせを配布できない状況となっています。

このため、今回は、次の新聞販売店のご協力を得て、新聞折り込みに入れて配布しました。（五十音順）

- ◆ASA多賀城東支部さま
- ◆(株)河北新報仙台東販売センター多賀城店さま
- ◆河北新報多賀城西部専売所さま
- ◆(株)河北高野新聞店さま
- ◆産経新聞塩釜多賀城専売所さま
- ◆毎日新聞内海新聞店さま
- ◆読売新聞多賀城サービスセンターさま
- ◆河北新報七ヶ浜専売所さま
- ◆(株)河北新報仙台東販売センター多賀城東部店さま
- ◆河北新報岩切販売所佐藤新聞販売店さま

市内の通水状況

本市は「宮城県仙南・仙塩広域水道から受水を受けている区域」と、「仙塩広域水道から受水を受けている区域」と、「仙塩広域水道から受水を受けている区域」に分かれています。

●宮城県仙南・仙塩広域水道から受水を受けている区域（西部など市内の大半）↓仙南・仙塩広域水道の復旧見通しが、4月1日予定のため、配水管の漏水調査を行いながら4月上旬から逐次通水が開始予定。

●仙台市から分水を受けている区域（下馬南の一部、鶴ヶ谷、丸山の一部、黒石崎、笠神東地区、大代東地区の一部）↓3月18日（金）から通水を開始しました。

通水していない地域は、本市配水管の漏水調査を実施し、異常がないことが確認できれば逐次通水予定。
＊水道水は、濁り等が発生する場合があります。水の使い始めには、しばらくの間水を流し、濁りなどがなくなつたことを確認してからご使用ください。

●塩竈市の給水区域（下馬の一部、笠神の一部、丸山の一部）↓塩竈市の報告によると、3月22日現在ほぼ復旧とのことです。

なお、水圧の低下など様々な事情により、緊急断水を行う場合がありますので、ご理解をお願いいたします。

●災害ボランティアセンター

3月22日現在、延べ2228人のボランティアの方が津波で被害にあつたお宅の掃除をお手伝いしています。

市内在住の方を中心にボランティアを募集しています。参加していただける方はボランティアセンターへお越しください。

問／多賀城市社会福祉協議会
Tel 080・5949・7501

エコノミークラス症候群予防のために

- ・長時間同じ姿勢でいない。
- ・足や足の指をこまめに動かす。
- ・1時間に一度は、かかとの上下運動をする。
- ・歩く（3〜5分程度）
- ・適度な水分を取る。
- ・時々深呼吸する。

★災害に負けない市民のチカラ★

～避難所コミュニティ便り（総合体育館）～

約70人が避難している総合体育館では避難者が分担して、ゴミの分別やトイレ掃除などを行っています。

被災から1週間以上過ぎ被災者同士の助け合いの輪が広がることで、少しずつ「暮らしの再生」に向けた足音が聞こえ始めています。

